

丹波篠山市公民館だより 第45号

四季の森通信

発行元
丹波篠山市立中央公民館
丹波篠山市網掛429
TEL 079-594-1180
館長 大路和浩
令和3年6月21日

はじめまして！ この4月から丹波篠山市立中央公民館の館長に就任いたしました^{おおし}大路と申します。
さて、公民館は地域の文化・スポーツ活動など生涯学習を担う重要な拠点として位置づけられていますが、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、残念ながら多くの事業がやむなく縮小や中止となってしまいました。



いまだ新型コロナウイルス感染症収束の見通しが立たない中、今後の状況によっては計画の見直しや変更が生じる場合もございますが、今年度も感染予防対策を行いながら、公民館職員一丸となって様々な事業に取り組んで参りたいと思っておりますので、地域の皆様のご指導ご協力をよろしくお願いいたします。

また、その情報発信の役割を担っておりますこの「四季の森通信」も皆様のお役に立てる生涯学習情報誌として、より読みやすく親しんでいただけるよう工夫してまいりますので、皆様からのご意見やご感想をぜひお寄せ下さい。

丹波篠山市立中央公民館 館長 ^{おおし}大路 ^{かずひろ}和浩

高齢者大学 =開講式記念講演の裏側=

人生いきいきと～パラリンピックと私～

5月の開催予定であった高齢者大学の開講式は9月に開催することとなりました。本年度の開講式は、四季の森生涯学習センターでは行わず、各学園の開催場所にて開講します。その開講式の記念講演にご出演いただく永尾嘉草さんの講演映像は、公民館で撮影・編集しました。

撮影現場の様子や永尾さんの人柄などを掘り下げて紹介します。
開講式の映像とは一味違う裏側をのぞいてみましょう！



↑ ^{ながい}永尾嘉草さん

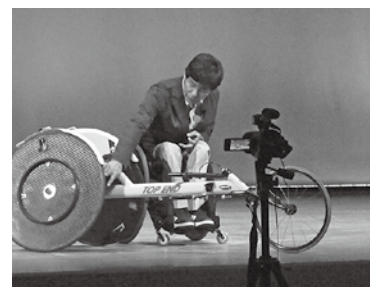


↑ 講演の撮影の様子

会場入り 撮影当日は、雨の中ワンボックスカーを運転して現れた永尾さんが、慣れた手つきで、車から車椅子を出して組み立てられました。

その後、車の荷台から大きな競技用車椅子を出されました。その車椅子を初めて目にした職員は、まずその大きさに驚きました。講演後に車椅子を持たせていただいたところ、女性でも軽々と持てるくらいの軽さに衝撃を受けました。

撮影 講演の撮影準備の間も気が抜けない職員、その緊張が永尾さんに伝わってしまったのか、撮影を開始すると少々緊張気味の永尾さんが映ります。しかし、さすが元パラリンピック陸上選手。緊張して見えていたのは、最初だけでした。その後の講演は、慣れた口調で分かりやすく話して下さいました。



↑ 講演中の競技用車椅子の説明の様子

撮影後 講演を終えてからは、永尾さんは職員と談笑。職員の中には、マラソン経験者や体育大学の出身者がおり、パラスポーツについての質問に対して永尾さんは快く答えて下さいました。中には腕の筋肉を触らせてほしいという職員の無茶ぶりにも永尾さんは快く応じて下さいました。



↑ 職員との記念撮影

感想 最後に職員と記念写真を撮って下さいました。受講生の講演のためだけでなく、職員にとっても良い刺激となりました。短い時間でしたが、職員と永尾さんの間に少し絆ができたように思います。今後開催される、公民館事業でも講師先生との絆を大切にしつつ、新型コロナウイルスの感染防止に努め、事業に励みます。



公民館は、多くの皆さんにご利用いただき、いろいろなサークルやグループが、公民館を拠点に活動の輪を広げられています。今号から、毎号いくつかのサークルやグループに焦点をあて活動や情報をご紹介します。

劇団オングクヤマ

代表者: 中野 彰夫
会員数: 30名
活動日時: 毎週2回程度
 17:30 ~ 21:00



活動場所: 城東公民館ほか **活動内容:** 演劇
コメント: 2012年8月に東京で旗揚げした社会人劇団です。小劇場や演劇に縁のなかった人を集めて、ワークショップなどを通して演技を体験してもらい、上演していくスタイルで取り組んできました。今年から丹波篠山市で本格的に活動をはじめ、8月に最初の公演を予定しています。舞台に少しでも興味がある方は、お気軽にご連絡下さい。詳しくは、下記のサイトをごらん下さい。
<https://ongakuyama.info/>

篠山悠ゆう会

代表者: 安留 睦江
会員数: 22名
活動日時: 毎週水曜日
 10:00 ~ 12:00



活動場所: 四季の森生涯学習センター
活動内容: 太極拳(入門・初級・24式・剣・扇)
コメント: これも太極拳?!と思うクールで華やかな剣や扇の種目もあります。一度見ていただくと、太極拳のイメージが変わりますよ。みんな健康維持のために続けていますが、検定に向け頑張っている人、新しい種目を覚えることを頑張っている人、目的は様々ですが、皆で楽しくやっています。仲間募集中です。

四季OliOli

代表者: 伊達 かおり
会員数: 5名
活動日時:
 毎月4回程度
 19:00 ~
 21:00



活動場所: 城東公民館ほか
活動内容: クラリネット
コメント: 中学校時代の部活仲間が集まって活動を開始しました。仕事、家事、子育てとの両立は大変ですが、メンバー全員音楽が大好きで、童謡から流行りのポップス、ジャズまで幅広いレパートリーで、保育園や施設、地区文化祭などで演奏活動を行っています。昨年度は、初のコンサートを計画していましたが、コロナ感染症拡大防止の観点から中止を余儀なくされました。現在、新しいメンバーの募集は行っていませんが、演奏会等、出演のご依頼をお待ちしています。

カ・パー・フラ・オ・カ・イリマレイ・アーピキ

代表者: 富阪 千春
会員数: 3名
活動日時: 毎月2回程度
活動場所: 四季の森生涯学習センター
活動内容: フラダンス



コメント: ハワイのフラの名門、カレオ・トリニダッド先生のハーラウ(教室)の日本校「カ・パー・フラ・オ・カ・イリマレイ・アーピキ」です。地域のお祭りやコンサート、デイサービス等に出演し、フラの技術だけでなく謙虚さや思いやりといった優しい心を大切に学んでいます。丹波篠山市内数カ所にいろんな時間の教室があり、楽しくレッスンしています。初心者クラスもありますので、是非体験にいらして下さいね! 連絡先: 090-1905-3620 富阪(とみさか)

混声合唱団unica

会員数: 4名
活動日時: 毎月2回程度
活動場所: 四季の森生涯学習センターほか
活動内容: 合唱



コメント: 元篠山鳳鳴高校の合唱部メンバーを中心に昨年1月に結成されたグループで、合唱曲からアニメソングまでジャンルを問わずに自分たちの歌いたいと思う曲を歌っています。丹波篠山市を拠点に活動をしています。10代~30代の方でメンバーを募集中。発表の場も求めています。お問い合わせは下記のメールへ!!
unica.chorus@gmail.com

*上記団体への問い合わせは、特に記載のない場合は下記まで。

電話 556-3171 城東公民館 松本 剛

ふしぎな花倶楽部

代表者: 太野垣 三栄
会員数: 6名
活動日時: 毎月1回第3金曜日
 9:30 ~ 11:30



活動場所: 城東公民館
活動内容: 押し花
コメント: ふしぎな花倶楽部は1992年に設立された全国的なサークルの一員として活動しており、身近にある草花を押し花にして額絵の作品を作っています。難しそうに感じますが、個々にあわせて先生に丁寧に指導していただけます。作品は、毎年地域の文化祭などに展示しています。是非一緒にいかがですか!

Info =公民館からのお知らせ=

まずは一步！ご興味があれば是非公民館へお問合せください。

お得意様の公民館の

掲載者大募集!

「サークルのメンバーを増やしたいなあ」「発表会を開催しませう」等々
「でも、PRする媒体がない！」
サークル活動の中で、こんなお悩みはありませんか？
新コーナー「公民館のお得意様」への掲載希望のサークルを大募集します。
掲載をご希望の方は、下記へお問合せ下さい。
中央公民館 594-1180 足立弘美
城東公民館 556-3171 松本 剛

応募多数の場合は少々お時間をいただく場合がございます。

4月、5月公民館職員に 新たな仲間が加わりました!!

京都から通っています。のじぎく兵庫国体を機に丹波篠山市でお世話になっています。週末はスポーツセンターでホッケーをしています。ぜひ一緒にスポーツに親しみましょう!



20年ほど前にABCマラソンに参加した際、挫けそうになった私を丹波篠山市の皆様が声援で支えてくれました。皆様のお役に立てるように城東公民館で頑張っております。

5月から川代体育館の管理員としてお世話になっております。利用者の方々が、気持ちよく快適に利用いただけるよう頑張りたいと思っています。よろしくお願いたします。



これからも公民館をよろしくお願いたします!

募集中

第17回 篠山のむかしばなし実物写真館



「田舎やよって、なんもないけどこらえてや」
三十数年前に初めて丹波篠山の家庭料理を味わう機会を得た。食卓にならんだ数々の料理の中で、ひときわ目をひいたのが蓋のされたどんぶりだった。蓋を開け、中を見て驚いた! どんぶりの中はなんと「ちやわんむし」だったのだ! 幼いころ、風邪をひいて熱を出すと母が大きなどんぶりでプリンを作ってくれたことを思い出し「これもありやな(笑)」
おもむろに箸を突き刺すと何か感触が違うのだ。箸で具材を持ち上げると長く白い物があらわれた。「う、うどんが入るとるやんか!!」そう、この食べ物、一般的に「小田巻蒸し」と呼ばれる料理なのだが、丹波篠山では「ちやわんむし」と呼ばれるらしい。「小田巻蒸し」は、大阪の船場近辺が発祥といわれ、大阪商人たちの冠婚葬祭にはかかせない料理だそう。京都の食文化圏といわれる丹波篠山だが、大阪船場の影響もうけているとは丹波篠山の懐の深さを感じさせる一品ではないでしょうか。

募集中

第17回 ささやまあるある 博覧会

◆「はあ〜。せがないわあ」◆

私事ではありますが、昨年末から約4ヵ月一緒に過ごした孫(1歳3ヵ月)が帰っていきました。
毎日、仕事が終わると一目散に帰宅して一緒に遊ぶことがコロナ禍の重苦しい空気感の中で唯一の楽しみといっても過言ではありませんでした。
そんな彼女がいなくなり、余計な荷物をどけた居間のカーペットにポツンととり残された食べこぼしの跡だけが、その証となってしまいました。
そんな光景を見たとき・・・

「はあ〜。せがないわあ」

大きなため息とともにこう呟くのでしょうか。
「せがない」は「やり甲斐がない」「張り合いがない」「励みがない」を意味し「精(せい)の出し甲斐がない」という言葉を縮めたものと思われ、「精がない」が語源で甲斐も無くむなしのときにため息交じりに多用されるようで、四国の香川県あたりでも、同様の意味で使われているようです。
昨年度は、公民館事業や、市の主たるイベントもほとんどが中止となってしまい、市内の随所で「せがないわあ」「せがないねえ」といった会話がされたことでしょう。

川柳

第37回

お題「ゴール」北澤稠民選

最優秀句

評価ポイント*以下(評ポ)

応募数 12名25句

マラソンのゴール直前足が痠り

下立杭 大上 几代

(評ポ)人生のマラソンの最終直線。張り切り過ぎて、痠撃した状況が浮かんでくると同時に、かえって作者の元氣な姿を彷彿とさせます。ユーモア句でもあります。

優秀句

傘寿越えゴールまだまだ農の道

西古佐 四季 短吉

(評ポ)何代にも渡り引き継いで来た農業。一家を背負って立つ気概を感じさせます。傘寿なんてまだまだ若いこれからです。

大好きな趣味と仲間がある限り

井串 脇田 敬子

(評ポ)毎日の生きる張り合いは目標を持つことだと思えます。立派な友がおられ、幸せな日々を送っておられるのでしよう。それが川柳であればもつと嬉しいですが。

百歳がゴールと今日も庭仕事

細工所 澤 良兼

(評ポ)下5の「庭仕事」が働く状況を的確に映し出し、温かい家庭にまで引き込んでくれました。百歳時代を目指し頑張りましょう、のエールです

題の「ゴール」はどうしても客観的言い回しになり「総評」がちですが、優秀句は実際の状況がみえました。そして皆様の前向きな姿に心打られました。

次号のお題「公民館」8月20日×切

中央公民館・城東公民館・多紀支所・西紀支所・今田支所まで持参・郵送・Faxでご応募ください。一人二句までお願いいたします。

一生勉強一生青春 Vol.34

まつおか まつりか
松岡 茉莉花 さん (福住)

生涯学習活動にまっしぐら！懸命に励まれている方を「数珠つなぎ方式」でご紹介します。今回登場した方が「エールを送りたい」と思う人を、次回ご紹介します。…次は、あなたかも！？

「草木染も森づくりから楽しむ」

生活が豊かで便利になり過ぎた今、「衣食住に関わる身の回りのものを自分で作る」ということから遠ざかっている人は多いのではないのでしょうか。松岡さんは、そんな方々に是非体験いただきたいと、ご夫妻で、衣食住の基礎が学べる場所を丹波篠山でスタートされました。

その第一歩となるのが奥原山につくる『染色の森』。今その森づくりに情熱を傾けておられます。

例えば、「衣」は、綿を育て、紡ぎ、染めて織り、布にして服にする。「食」は土を耕し、種をまいて、育った野菜をいただく。「住」は山を整備し、木や竹を暮らしに取り入れる。このように全てを一からすると、とても手間暇がかかるでしょう。でも同時に「私たちの暮らしは自然と繋がっている」ことを感じ、五感を使うことや自分で考えること、選択することの楽しさも味わえます。それに今の便利な生活への感謝の気持ちも生まれると思います。

多くの方にそのような体験をしてもらいたいと思っています。特に子育てをしている方には是非！

今は特に草木染と竹籠作りを皆さんにお教えできるように勉強しています。

今後の目標の一つは、「染色の森」に無い植物、例えば日本茜を移植したりして、全ての色を「染色の森」から採取した植物で染めることです。



【記者より】

松岡さんが染めた糸や布、竹で編んだかごやざる、コーヒードリッパーを見せていただきました。自家製お日様醤油のお味見も。

どれも多くの知識や労力、時間がかかったものです。それとその全てがまた自然に還すことができるものなんです。正に循環型の暮らしですね。(A)

次回は
なかに よしこ
仲谷 佳子さん
です！



次のバトンはこの人に託します！

編集後記

四季の森通信の編集に携わって、公民館事業を読者の皆様に分かりやすく興味を持っていただこうと、編集員一人一人が皆様のお顔を思い浮かべながら執筆しております。本年度も新型コロナウイルスの緊急事態宣言が発令され、各種事業の開催自粛を余儀なくされました。楽しみにされていた方々には、大変心苦しい思いでいっぱいです。新型コロナウイルスによる自粛期間が明け、皆様が笑いながら安心して参加して頂ける事を楽しみにしております。健康に注意しながら元気にお過ごし下さい(寿)